ビデオ通信

2012 年
12 月 27 日（木）
No.3645

毎週月・木曜日発行
1 ヶ月 ¥11,550（税込）
発行：飯澤剛
編集：齋藤浩一、齋藤知香

ユニ通信社
東京都千代田区神田司町 2-10
神田司町国土ビル 2F　〒101-0048
TEL：03-5256-1521
FAX：03-5256-1525
E-mail：vt@uni-press.net

ヒューマックスシネマ HAC スタジオ

Smoke 編集室「EDIT 06」新設

ファイルベースワークフローを強化
Smoke は可搬式とあわせ 2 式に／ストレージも増強

㈱ヒューマックスシネマ HAC スタジオはこのほど、コンサートやライブ、ミュージッククリップなどマルチカメラ収録の大型作品の編集に対応して、Autodesk Smoke 導入の「EDIT 06」（写真）を新設した。Smoke は EDIT 05 から移設し、より広いスペースを確保して EDIT 06 としてオープン。EDIT 05 は Final Cut Pro（FCP）をベースとしたオンライン編集室として運用している。また、EDIT 06 のオープンと同時に Smoke をもう 1 式追加、Flame Premium 編集室の EDIT 02/EDIT 03 や EDIT 05 などと連携させる可搬式として運用している。さらに、拡大するファイルベースワークフローに対応して、「Stone」の増強など、共有ストレージを大幅に強化している。

編集室の連携やストレージの拡充で膨大な HD 素材を運用

Smoke 編集室の新設やストレージの拡充について、ヒューマックスシネマ HAC 事業グループテクニカルディレクターの知識優氏は〈コンサートやミュージッククリップなど、マルチカメラ収録作品の編集作業に対応したもので、Smoke 編集室は Flame Premium 編集室である EDIT 02/EDIT 03 への橋渡しとしての機能も担っています。1 つのプロジェクトにおいて膨大な HD 素材を扱う必要があるため、デジタイズ／オフライン編集／オンライン編集／エフェクトといった一連の作業のなかで、膨大な素材の管理、各作業のスピーディかつ安全な連係とともに、ノンリニア編集とストレージ強化を活かした作業が必須となっています〉とする。

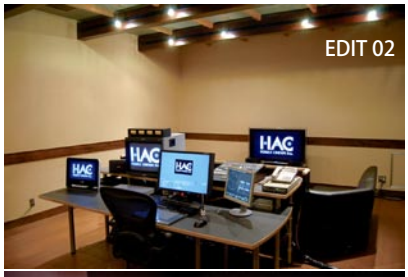
新設した EDIT 06 は、63TB のストレージ容量を擁するだけでなく、ネットワークしている「Stone」についても担当する編集業務の増加に伴って順次増強し、現状では 73TB 容量となっている。大型のコンサート映像では、延べ 100 台以上のマルチカメラ収録といった作品も多く、FCP でオフライン編集を行った大量の編集データを、Smoke で DPX ファイルに順次変換し、2 室の Flame Premium 編集室でエフェクト／カラーコレクション／スーパー挿入／ HD 完パケ作成とい

う作業工程をとっているという。また、可搬式の Smoke を増設したことで、Flame 等との並行作業など、編集作業の効率化や時間短縮が図られているという。

エディターの市川有人氏は〈Smoke はコストパフォーマンスの高い編集室として運用していますが、FCP との親和性も高いため、好評です〉としている。

さらに、ノンリニアカラーグレーディングシステムの DaVinci Resolve についても可搬式で運用、各編集室に持ち込みが可能となっている。同社では編集室におけるカラーグレーディングサービスを 2008 年から開始（同時は Apple Color を併設）し、ノウハウを構築しており、映画やミュージッククリップなど多彩な作品について編集＋カラーグレーディングを担当している。

Smoke の作業風景（市川有人氏）



＊　＊　＊

HAC スタジオでは現在、HD/SD スイッチャブルリニア編集室の「EDIT 01」、Flame Premium の「EDIT 02」「EDIT 03」、エンコードルームの「EDIT 04」、FCP の「EDIT 05」「EDIT 07」、Smoke の「EDIT 06」、オフライン編集室× 3 室、Pro Tools HD をメインとした 5.1ch サラウンド対応の「MA 01」「MA 02」および「MA 03」というポストプロダクション体制となっている。

EDIT 01 はスイッチャーに KAHUNA 2M/E、編集機に BVE-9100、キャラクタージェネレーターに Deko1000HD を導入。42 ㎡という大きなスペースを有し、クライアントスペースも L 字型のデザインを採用した居住性の高い編集室となっており、主に番組編集に利用されている。

EDIT 04 はアクトビラ向け H.264 をはじめ、MPEG2/Flash/MOV/Windows Media Video など幅広いフォーマットに対応。セキュアな環境のもと、大量オーダーにも対応できるキャプチャーライン数を確保しており、ビデオ・オン・デマンドやダウンロード向けだけでなく、テープメディアのコンテンツにおいて将来の資産活用を考慮したアーカイブ用エンコードにも対応する。

FCP 編集室の EDIT 05/EDIT 07 は PV や番組編集など幅広い作品に対応、ネットワークストレージ共有ソリューションとして 48TB 容量の GB Labs 社「Space」を装備している。

◇㈱ヒューマックスシネマ HAC スタジオ

東京都新宿区富久町 9-11　TEL03-3351-1164

http://www.hacstudio.com/